

トピック

- ・第2回いわて親子フェスティバル
- ・第17回わたしの主張岩手県大会
- ・「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール
- ・アイーナに泊まろう
- ・みたけがはらまつり
- ・各種お知らせ

青少年 いわて

2015
11



第2回 いわて親子フェスティバル in アイーナ

ミニ機関車

10月18日(日)、“アイーナで一日中あそぼう!”をテーマに「第2回いわて親子フェスティバル in アイーナ」が開催され、延べ3,500人の大勢の家族連れでアイーナは大変な賑わいとなりました。ボランティアが5月から何度もアイーナに足を運び、一から作り上げた12件の企画を含む18のコーナーでは、どこも親子連れが途切れることなく、大きな歓声にあふれていました。

「くぼたまさと工作ショウ・工作教室」では、本物の“わくわくさん”に大人も笑顔になり、軽快なトークと工作は今年も大好評でした。

昨年に引き続き2度目の出展の「リコーサイエンスキャラバン」は、今年は「熱闘!紙バトル」「プログラミング新入生」の二つのプログラムで、子ども達に科学の不思議と面白さを体験させてくれました。

今年初登場の「段ボール迷路」には、何度も何度もチャレンジする子ども達で迷路の中はいつぱいになり、同じく初の「ミニSL」にも、子ども達の列が途絶えることなく続いていました。

また、“魔法の水”の中をハロウィンの人形とキラキラしたラメが舞う「スノードーム」は、用意していた材料キットが完売になるほどで、親子そろって楽しそうに作業に取り組んでいました。その隣では、保冷剤に絵具できれいな色を付け、アロマを垂らすと、あっという間に消臭剤が出来上がり、身近な材料で簡単におしゃれな消臭剤が作れることに大人もびっくりしていました。

親子のチームで競う「遊びリンピック」では、親子で段ボールのキャタピラに入り、右へ左へと曲がりながら進んだ後は、大きなでかパンをはいてゴールを目指すユーモラスな競争に笑いが起きました。一等賞の金メダルをもらった子をうらやましそうに見る子も。

ボランティアスタッフは、ハロウィンの楽しい仮装をして子ども達を喜ばせたり、ゲームを盛り上げたり、終始笑顔で子ども達との楽しい一日を過ごしていました。

第2回

いわて親子フェスティバル

仮装した
ボランティアスタッフたち

エコ料理
上手に作ったよ

科学の不思議
を勉強中

親子でエコクッキング

リコーサイエンス
キャラバン

よく狙って
輪ゴムを発射

大きなけん玉に
挑戦!!

巨大おもちゃ &
紙芝居コーナー

わりばし鉄砲

キャラクターポーリング

やったー!
ストライク!!

協賛イベント
(第一学院)
紙芝居
ジャンボあそび

リコー
サイエンス
キャラバン

いわて家庭の日
絵画・ポスターコンクール
作品展示

手形アート

ペタペタ塗って
手形アート♪

わりばし鉄砲で
あそぼう!

押してくれなきや
イタズラするぞ!

みんなの手形で、
ハロウィンの夜を
彩ろう!

アッたらイーナ!?
キャラクターポーリング

遊ぼう
アイーナ・アドベンチャー

こくっち
大好き♪

こくっち

遊ぼう
アイーナ・アドベンチャー

参加者の感想

- ・色々体験でき
- ・去年も来まし
- ・スタッフの方
- ・また参加した
- ・子どもがとて
- ・スタッフの方

ケロ平

ケロ平と
お友達だよ♪

ミニ機関車

ジャンケンに勝って
スタンプゲット♪

S Lに乗って
出発進行!

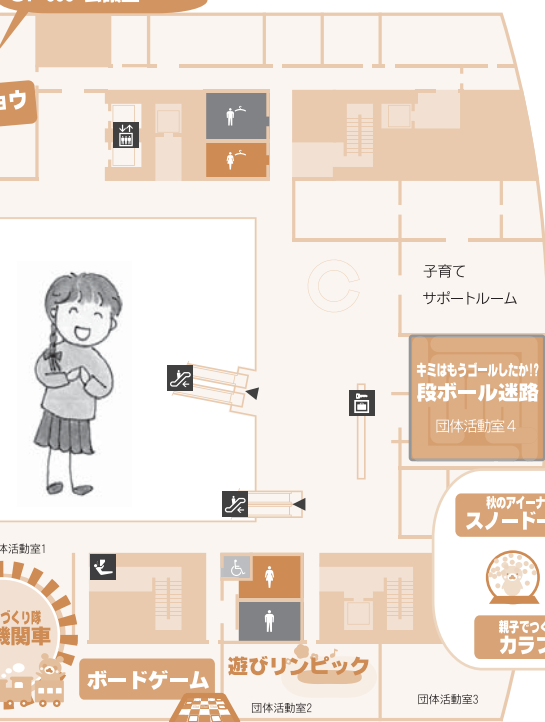
フェスティバル in アイーナ



ホウライオー

ホウライオー
カッコいい！

くぼたまさと工作教室
8F 803 会議室



エコロル

エコロル
可愛いね♪



段ボール迷路



楽しくて
何周もしたよ



わんごきょうだい
ぬりえ

みんな一生懸命
作ってたよ♪

カラフル消臭剤



簡単に
作れたよ！

スノードームづくり



て楽しかったです。
た。楽しかったです。
々がみんな親切だった。
いです。
も楽しんでいてよかったです。
が仮装してて楽しかったです。
(一部抜粋)

やった♪
金メダルだ！

メダル授与



ぴったりタワー

これくらいの
高さだったかな？



遊/び/リン/ピック

たくさん
乗っちゃった♪



お父さんと一緒に
ゴールだ！



でかパン競走&
キヤタピラ競争

風船が落ちないように
1・2・1・2



風船運びレース

第17回わたしの主張岩手県大会

「第17回わたしの主張岩手県大会」が9月11日（金）に盛岡市の都南公民館（キャラホール）にて開催されました。

今年度は、各地区大会から選出された代表者18名が、未来に向けての夢や希望、日常生活で感じていることなど、それぞれの思いを発表しました。

「支えられている命だから」という題目で発表した西和賀町立沢内中学校の佐々木瑠海さんが大会の最優秀賞に選ばれ、優秀賞には2人、優良賞には3人の生徒が選ばれました。

アトラクションでは、盛岡市立見前中学校の生徒によるソーラン節「見中ソーラン」が披露され、会場全体を使った迫力のある舞を行いました。

「支えられている命だから」

西和賀町立沢内中学校3年 ^{ささき るみ} 佐々木 瑠海

「村民の命を守るために、私は、自分の命をかけよう。」

こう言ったのは、日本で初めて乳児死亡ゼロを達成した旧沢内村の村長、深澤晟雄さんです。わたしのふるさと沢内は、かつて乳児死亡率が全国で一番高い村でした。貧しさ、衛生環境の悪さ、それに加えて豪雪のため、病人や乳児を病院に運ぶことができず多くの命が奪われていくという悲惨な状況。そんな中立ち上がったのが深澤村長です。村民のために命を尽くし、就任してわずか五年で乳児死亡ゼロを達成したのです。

命についての学習で、この話を聞いたときに思い出したのは、弟が生まれた時のことです。私の弟は、予定日より二週間早く生まれました。急いで病院に行くと、母はそっと、弟を抱かせてくれました。すごく小さくて、温かくて、やわらかくて。私の手の中に命があることを感じました。それと同時に、簡単にこわれてしまいそうな弱さも感じました。みんなで守ってあげなければ、と思いました。三時間ごとにミルクをあげるので母は夜中も起きていて、命を守るのはすごく大変だと思いました。しかし、弟の命は私たち家族だけで守っているわけではありません。私が弟をおんぶして散歩をするとき、必ずと言っていいほど地域の方に声をかけられます。「お、佐々木さんどごの孫だな。元気か。おっきくなったな。」こうしていろんな人に守られながら育っているのだと思うと、心が温かくなります。そんな弟は今年で二歳になりました。大声で歌を歌ったり、ボールを投げて遊んだりとても元気です。

弟だけではなく、私自身も様々な人に支えられながら生きています。ソフトボールの県選抜として、全国大会に出場することが決まったとき、一番最初に喜んでくれたのは友だちでした。顔をくしゃくしゃにして、自分のことのように喜んでくれました。また、先生や両親も本当にうれしそうに声をかけてくれました。私が驚いたのは、地域の方からたくさん声をかけてもらったことです。「今度全国大会に行くんだってな？」

頑張れ！」そんな声をかけられるたび、私もいろんな人に支えられて生きているんだなあと感じます。ソフトボールの練習は、厳しくて、辛くて、途中で投げ出したくなることもあります。しかし、そんなとき私は、「私を支えてくれるみんなのためにがんばろう」と思うのです。私は決して一人で生きてきたわけではなく、生まれたときからずっと、人に支えられて生きてきたからです。

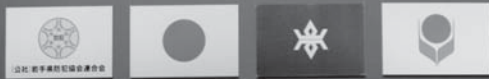
私のふるさと・沢内でつないできた命は、深澤村長や地域の方の手によって強いものになって、しっかりと現在まで受け継がれてきました。もし深澤村長や地域の方の努力がなかったら、私は生まれてこなかったかもしれないし、母の顔を覚えることなく死んでいたかもしれません。沢内に生まれたものとして、私ができることは、「命を輝かせること」です。いただいた命を絶対に無駄にしたいくはありません。歯を食いしばりながらボールを追いかけ、汗を流しながら声を出す。いやなことや辛いことがあっても、決して逃げたりしません。時にはそれ以上に大きな壁にぶつかることもあるかもしれませんが、けれど、そんな時こそ私は前を向いて生きたいです。自分の目の前にあること一つ一つを精一杯やること。それが私の命を輝かせることです。

みなさん、みなさんの命も、受け継がれ、支えられている命です。どうか命を大切に、精一杯生きて欲しいです。命を輝かせて欲しいです。「村民の命を守るために、私は、自分の命をかけよう。」そう言った深澤村長が、天国でほほえんでくれるように。



最優秀賞に選出された
西和賀町立沢内中学校3年
佐々木 瑠海 さん

第17回 わたしの主張岩手県大会



入賞者一覧

区 分	学 校 名	学年	氏 名	発 表 題
最優秀賞	西和賀町立沢内中学校	3	ささき るみ 佐々木 瑠海	支えられている命だから
優秀賞	二戸市立福岡中学校	3	くぼた みお 久保田 滯	「C」の軌跡
優秀賞	陸前高田市立第一中学校	3	わかすぎ さやか 若杉 紗香	握り拳ひとつ分の命
優良賞	遠野市立遠野中学校	3	かしわぎ ゆうじ 柏崎 悠司	今だから伝えたい
優良賞	花巻市立湯本中学校	3	かわむら りょうた 川村 亮太	小さな風を起こす
優良賞	岩泉町立小本中学校	3	ちば りなこ 千葉 梨奈子	私の願い

寄稿

人目を気にしない姿

一般社団法人岩手県PTA連合会
常務理事兼事務局長 樋下照男

その日は、それまで愚図ついていた天気もこの日ばかりはと待っていたかのように、雲一つない秋晴れの午後、地元の中学生50人ほどが街の一角に集まってきた。街づくり集団の企画した街路樹の下の草取り作業に集まった中学生のボランティアである。盛南都市開発で道路や街並みが整備され、街のあちこちに街路樹が植えられている。街づくり集団の企画は、これらの街路樹の下の雑草を除草しようというものである。

いよいよ作業に入った。「皆さんの住んでいる街をきれいにしよう。そして、来年に行われる国体に向けてきれいな街にしよう。」という主催者の話で始まった作業は、中学生の手に鎌とビニル袋が一つずつ。あらかじめ決められていた場所に来ての一時間弱の作業となった。普段、学校や家庭、地域ではめったに見ることのできない中学生のこの黙々と草を取る姿は、とても清々しく爽やかに感じたのは私だけではなかったろう。道路を歩き交う車の窓から見ている人や買い物の行き帰りに沿道を通行する人の目にはどのように映ったのだろうか。作業に来た中学生の意識は高く、恥ずかしいとか汚いという意識より、地域のためにときれいな街にしたいという意識の方が強かったのかもしれない。こういう子ども達を目の当たりにしていると今の子ども達も捨てたものじゃない・・・と嬉しくもなったりした。私は、交通量の多い道路にはみ出して作業にならないか監視する役目であったが、いらぬ心配事であった。そして、何より嬉しかったのは、こんな中学生の姿を見て、地域に住む一人の年配の女の人が中学生と一緒に草取りを始めたことである。話を聞いてみたら「この姿を見て、居ても立ってもいられなくて出てきたんです。」とのことだった。

最近のニュースの報道を聞いていると、中高生を巻き込んだ事件や親子関係のもつれなど、ぎくしゃくした人間関係の中で起こった凶悪な犯罪や事件が多いことに目が向くが、この中学生のように、人のため地域のために何かをするという気持ちを持つ人からは、犯罪や事件は起こらないだろうと思う。

作業を終えて、ビニル袋いっぱい詰まった雑草を片手に、笑顔で集まる姿にこの子ども達の将来の姿を垣間見たような気がした。



(岩手県青少年育成県民会議理事)

平成27年度

「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクール



「いわて家庭の日」の普及活動の一環として行われている平成27年度「いわて家庭の日」絵画・ポスターコンクールの選考委員会が開催されました。

「いわて家庭の日」をテーマに、岩手県内の小・中学校及び高校から243点もの作品の応募があり、児童の部の最優秀賞に輝いた月折優里明さんの作品や生徒の部の最優秀賞に輝いた藤倉明日香さんの作品を含む12点の作品が優秀な作品として選出されました。

11月15日には入賞した児童及び生徒10名が参加して北上市民交流プラザで作品展と表彰式が行われた他、今後「いわて家庭の日カレンダー」で入賞作品を発表していきます。



【児童の部】 最優秀賞
二戸市立金田一小学校5年
つきおり ゆりあ
月折 優里明 さん
『母と稲刈り』

平成27年度
入賞者

【生徒の部】 最優秀賞
盛岡市立土淵中学校2年
ふじくら あすか
藤倉 明日香 さん
『家族と一緒に』



【児童の部】 優秀賞
北上市立江釣子小学校6年
いしかわ みなこ
石川 美奈子 さん
『今日は、お母さんとおせんたく!』



【児童の部】 優秀賞
一関市立老松小学校2年
ちば りゅうせい
千葉 琉生 さん
『ぼくのお父さん』



【生徒の部】 優秀賞
北上市立北上中学校2年
あべ ひより
安部 ひより さん
『あったかい庭』

【児童の部】 優良賞

北上市立黒沢尻北小学校3年
奥州市立水沢小学校3年
北上市立江釣子小学校4年
北上市立江釣子小学校4年
北上市立黒沢尻北小学校5年

くまがい るの
熊谷 琉音 さん
さかい みさき
坂井 望咲 さん
ふじた わかば
藤田 若葉 さん
おおみどう あさひ
大御堂 旭 さん
いとう かずき
伊藤 和希 さん

【生徒の部】 優良賞

花巻市立南城中学校2年
岩手県立一戸高等学校1年

いとう かえで
伊藤 楓 さん
こぶね みや
小船 美椰 さん





NPO活動交流センター
で飾りの作成



岩手県立図書館
の巨大書庫で本の整理



環境学習交流センター
で資料整理

おしごと発見講座 アイーナに泊まろう！

8月1日・2日に「おしごと発見講座～アイーナに泊まろう！～」が開催されました。

職業や社会の仕組みに対する理解や異世代交流を目的に行った今回のイベントでは、小・中学生併せて23名が参加し、職業体験や宿泊研修を行いました。

職場体験では、県立図書館やNPO活動交流センター、環境学習交流センターに分かれて仕事を体験しました。参加者たちは、本の整理や備品の作成など、一生懸命仕事をしていました。その後エコ活動や震災学習を行い、東日本大震災当時のアイーナの様子を学びました。

夕食は、班ごとにハンバーガーやホットドッグ、フライドポテトを作り、包丁を使って材料を切ったり、ハンバーグをこねて焼きあげたりと、日頃やり慣れていない作業をボランティアに手伝ってもらいながら挑戦していました。できあがった料理を同じ班の参加者と一緒に満足した様子で食べていました。

夜は、アイーナの夜間警備の体験をしました。不審者を瞬時に感知できるシステムに参加者たちは驚いていました。

警備体験を終えた参加者たちは4階の県民プラザで、寝袋などを広げて寝ました。参加者の中には初めてのアイーナでのお泊りや仲良くなった友達との会話で興奮して寝不足になった参加者もありました。

朝はみんなでお世話になったアイーナ周辺の清掃を行い、最初は不安がっていた参加者たちも朝食後は名残惜しそうに帰っていきました。



震災当時のアイーナ
について勉強中・・・



みんなで作った夕食
いただきます～す♪



夕食づくりに挑戦！



みたけがはらまつり



9月6日（日）に盛岡市みたけ地区にある青少年会館で開催された『みたけがはらまつり』に参加しました。

青年ボランティアの協力によりかき氷の屋台を出店し、あいにくの曇り空だったにも関わらず大盛況でした。

屋台では、イチゴやメロンなどの定番のシロップだけでなく、コーラやオレンジ、ブドウなど、珍しい味のシロップも用意しました。また、ジャンボかき氷の早食いなど、様々な工夫を凝らしたことで、子供達だけでなく大人も楽しんでいました。

餅まきやバザー、ラダーゲッター大会などのまつりのイベントにも青少年活動交流センターのボランティアが協力をして、まつりを盛り上げてくれました。



ジャンボに挑戦！



いっぱいある！



なに味にしようかな♪

青少年なやみ相談室

「青少年なやみ相談室」では、電話・面接・メールによる相談を受け付けています。相談者の約7割は青少年で、その相談の多くは電話とメールで寄せられます。

相談の内容は、不登校などの学校生活に関わるもの、交友・親子関係の問題、インターネット使用の際のトラブル、自身の生き方について、今考えていることなど、多岐にわたります。また、安心して話せるようにと、匿名での相談を受けています。

私たち相談員は、お話を聴き、共に考えながら、相談者ご自身が、自らの力で納得のいく解決方法を見出していくことを信じ、支えていきたいと考えています。

相談時間

電話・面談

9:00～16:00

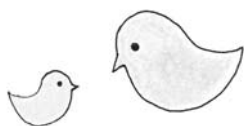
(月・木のみ 20:00 まで)

※面談は事前の予約が必要です

メール (24 時間)

nayami@aiina.jp

(返事が翌日以降になることがあります)



青少年なやみ相談室 (ホームページ) :

http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/nayami_top.html

相談室だより (goo ブログ) :

<http://blog.goo.ne.jp/ya-nandemo>

岩手県青少年育成県民会議 会員・協賛企業募集

1. 会員

会員には、県内各地で開催されるイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料等をお送りします。

区分	形態	年会費
正会員	個人	3,000円
	団体(法人)	6,000円
賛助会員	個人	一口 12,000円以上
	団体(法人)	一口 25,000円以上

2. 協賛企業

県民会議 HP バナー広告、広報紙『青少年いわて』への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

詳しくは、県民会議事務局まで
お問い合わせください

情報メディア「出前」講座

PTA 関係者や保護者等からの要望に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座を開催します。

講演時間: 30 分から 90 分程度 (質疑応答時間別)
テーマ: 要望に応じて内容を調整します

例) 青少年が関わるネットトラブルと対策
ネットでのコミュニケーションの注意点

※ 派遣を希望する団体は、講座開催希望日の
1ヶ月前までにお申し込みください。

お問い合わせ・申込先 (青少年活動交流センター)
Tel : 019-606-1763 / Fax : 019-606-1765

頑張る岩手の青少年を応援します



2016
希望郷

いわて国体



2016
希望郷

いわて大会